

お客様に「安心」「信頼」して

いただくために

vol.42 安全性を向上させた 新型車両の投入について

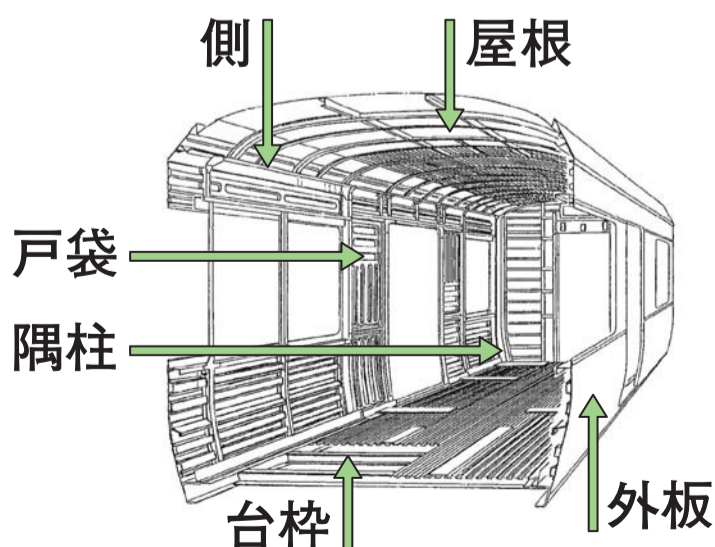
平成22年度から京阪神エリアに随時投入する新型近郊型電車(225系)の製造を開始しています。この車両は、安全性向上の観点から、今回新たに採用する衝撃吸収構造により、踏切事故などが発生した際の衝撃を低減させています。また、急停車時に手すりにつかまりやすくするなど、客室設備についても改善を図っています。

これまでの 安全性向上策

つり手の増設

車体強度の向上

屋根と側、台枠と側、台枠と隅柱および戸袋部分の接合強化や外板の材質変更などを行い、車体強度を向上させました。

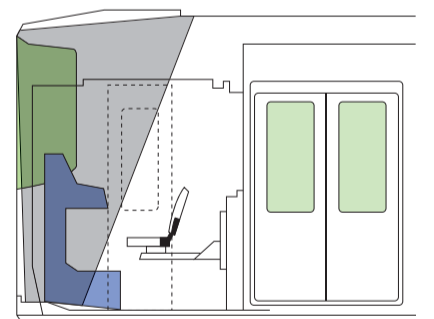


※平成20年7月以降の新製車両から実施

今回新たに採用する 安全性向上策

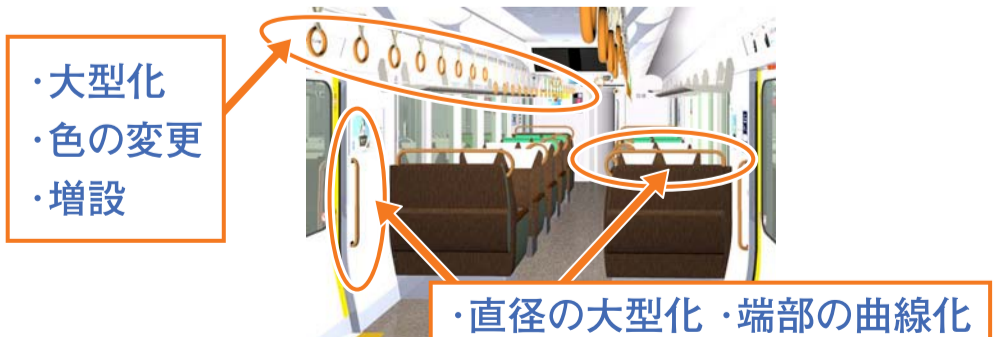
車体構造の改善～クラッシュブルゾンの設置～

前頭部の構造を工夫し、力を吸収しやすくする部分(クラッシュブルゾン:図の網掛け部分)を設けてお客様にかかる衝撃を低減させます。



客室設備の改善～つり手・手すりの改善～

形状や色の改善により、とっさの際につかまりやすくしています。



バリアフリー面についてもトイレの設備改善などを実施しています